



批評と紹介

道路愛護の賞金利用

田邊良忠

神奈川県道路愛護事業は昭和四年創始以來累年進境を示し本年度も昨年十一月末現在に於て既に愛護團體數四百二十五其の人員五八、一三一人、擔當道路は國縣市、町、村道を併せ延長實に一五六五、九三三米(三百九十八里強)に及び此道路に對して年六回に涉り修理其の他の愛護作業を實施する外降雪の場合は路面保全を主たる目的として除雪を爲し又昨年末には新春に於ける道路淨化の爲め特に縣下全般に涉り一齊作業に従事する等道路の維持保全に貢獻する處不尠、尙本縣の各町村は財政上多大の疲憊を極め居

るは周知の事實にして道路維持費の捻出等にも苦心慘憺たるものあり心ある町村民は當局の苦衷を傍觀するに忍びずとし多少にても經費節約の意味合より愛護事業に加盟する者も少なからず、今一つ特筆すべき現象は昨年道路愛護共進會に於て知事より賞金品を授與されたる優勝團體は一等賞、縣優勝旗、賞金百圓足柄下郡片浦小學校内小年赤十字團、二等賞地方優勝旗、賞金五十圓橘樹郡柿生村、岡上村、高座郡澁谷村福田部落會、三浦郡葉山町消防組、在郷軍人會、青年團、中郡岡崎村道路愛護會、足柄下郡上府中村青

年會千代支部、愛甲郡愛川村青年團、津久井郡大澤村青年團、横濱市磯子區氷取澤町戶主會、三等賞銀カッパ賞金十五圓橋樹郡稻田村外十八團體四等賞銀牌賞金十圓橋樹郡山内村外四十團體なりしが、是等の入賞團體は從來ならば先づ以て優勝祝賀會等を催し賞金の大部分を費消したるものも稀れならざりしが今回は斷然去る事なく賞金の多寡に準

じ或は二宮尊徳先生の像を建立し或は愛護作業用の器具を購入し或は團旗を作製し其他團體基本金に繰入るる等悉く有意義に使用したりと言ふ、是等の行動は一面時局に對する反映とも見るを得べく且つ道路愛護團體の堅實味と眞剣味とを裏書きするものにして、推奨するに吝ならざる處なり。

愛知縣尾張大橋竣功式舉行の概況

川 越 篤

國道一號路線中の尾張大橋竣功式は去十一月八日内務大臣代理勝田參與官、永田内務技師、辰馬内務省名古屋土木出張所長、早川三重縣知事、三邊愛知縣知事、大野愛知縣會議長等臨場の下に舉行せられた。本路線は京都より伊勢大廟に達する我が國第一の交通幹線にして特種の地位を占め兼て政治經濟文化の府たる東京、京都、大阪等を聯絡し本州西端下關市に通する一大縦貫線を形成し最も重大なる使

命を有す昔時東海道五十三次の宿驛交通以來行旅の難所とし又寶歷年間より治水上幾多の史實を以て其名天下に聞へたる愛知、三重兩縣界を流下する木曾川に初めて架せられたものである。從來本箇所は纔に渡船を以て彼我の道路を聯絡したるに過ぎず、出水一度疎らば交通は杜絶し不便名狀すべからざるものあり、殊に近代的交通機關たる自動車の利用困難なる爲地方の發展文化の普及に影響したる所尠